

堺市バリアフリー道路特定事業計画 概要版

堺 市

バリアフリー道路特定事業計画の位置づけ・目的

(通称) バリアフリー新法における道路特定事業計画の位置づけ

バリアフリー新法は、高齢者の方、障害者の方などの移動や施設利用の利便性、安全性の向上を促進するため、公共交通機関、建築物、公共施設のバリアフリー化を推進するとともに、駅を中心とした地区や、高齢者の方、障害者の方などが利用する施設の集まった地区において、重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進する目的で平成 18 年に施行されました。

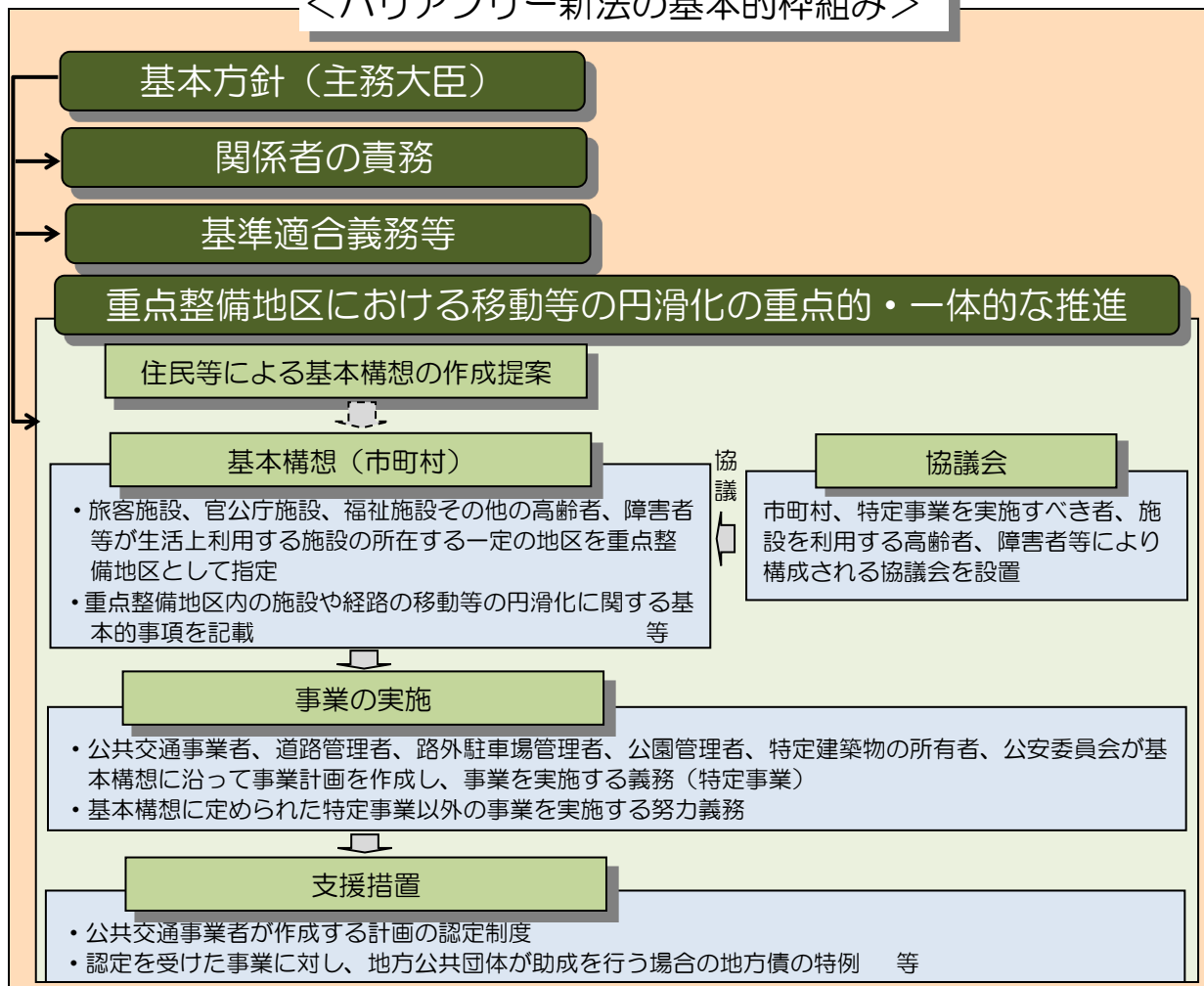
この法律に基づき市町村は基本構想を策定し、一定の地区において、旅客施設、周辺の道路、駅前広場、信号機などのバリアフリー化を一体的に進めることとされています。

道路特定事業計画は、基本構想に沿って、道路管理者が事業計画を作成し、実施する事業内容を定めるものです。

計画策定の目的

堺市では、「だれもが移動しやすく安全・快適で活力のあるまちづくり」を基本理念とした「堺市バリアフリー基本構想」を平成 27 年度に策定しました。本事業計画は、この基本構想に基づき、対象となる重点整備地区内の生活関連経路のうち堺市の管理する市道及び府道部分を対象とした具体的なバリアフリー化の計画を示したものです。

<バリアフリー新法の基本的枠組み>



これまでの道路におけるバリアフリー化への取り組み

堺市では、だれもが移動しやすく安全・快適で活力のあるまちづくりをめざして、総合的・一体的な都市基盤整備の一つとして、歩道の段差・勾配・舗装面の改良、溝蓋の改良、駅前広場等におけるバス停の整備など、歩道のバリアフリー化及び快適な歩行空間の整備を進めております。

また、歩道等の施設整備に加えて、道路上の不法駐車車両の撤去、道路の適切な利用のための市民への啓発、PR 活動などを行っています。

このような取り組みの中で、平成 12 年の（通称）交通バリアフリー法の施行に基づき、14 地区について堺市交通バリアフリー基本構想を策定しました。これを受けてそれぞれの地区についての「堺市交通バリアフリー道路特定事業計画」を策定し、道路のバリアフリー化に取り組んでいます。

さらに、平成 18 年の（通称）バリアフリー新法の施行に基づき、平成 27 年度には堺市バリアフリー基本構想を策定し、バリアフリー化に向けた整備を行うこととしています。

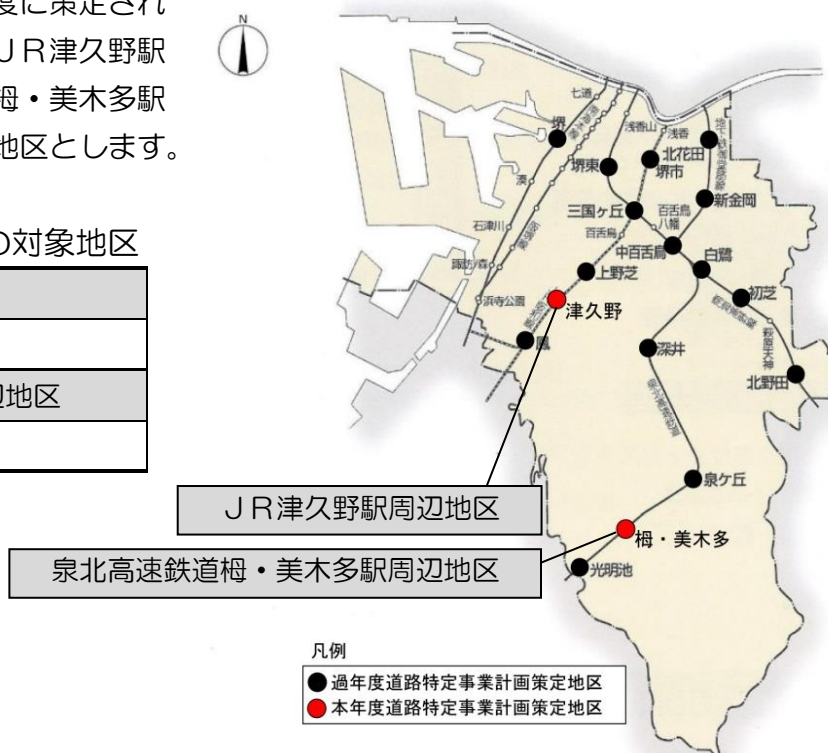


道路特定事業計画の策定地区

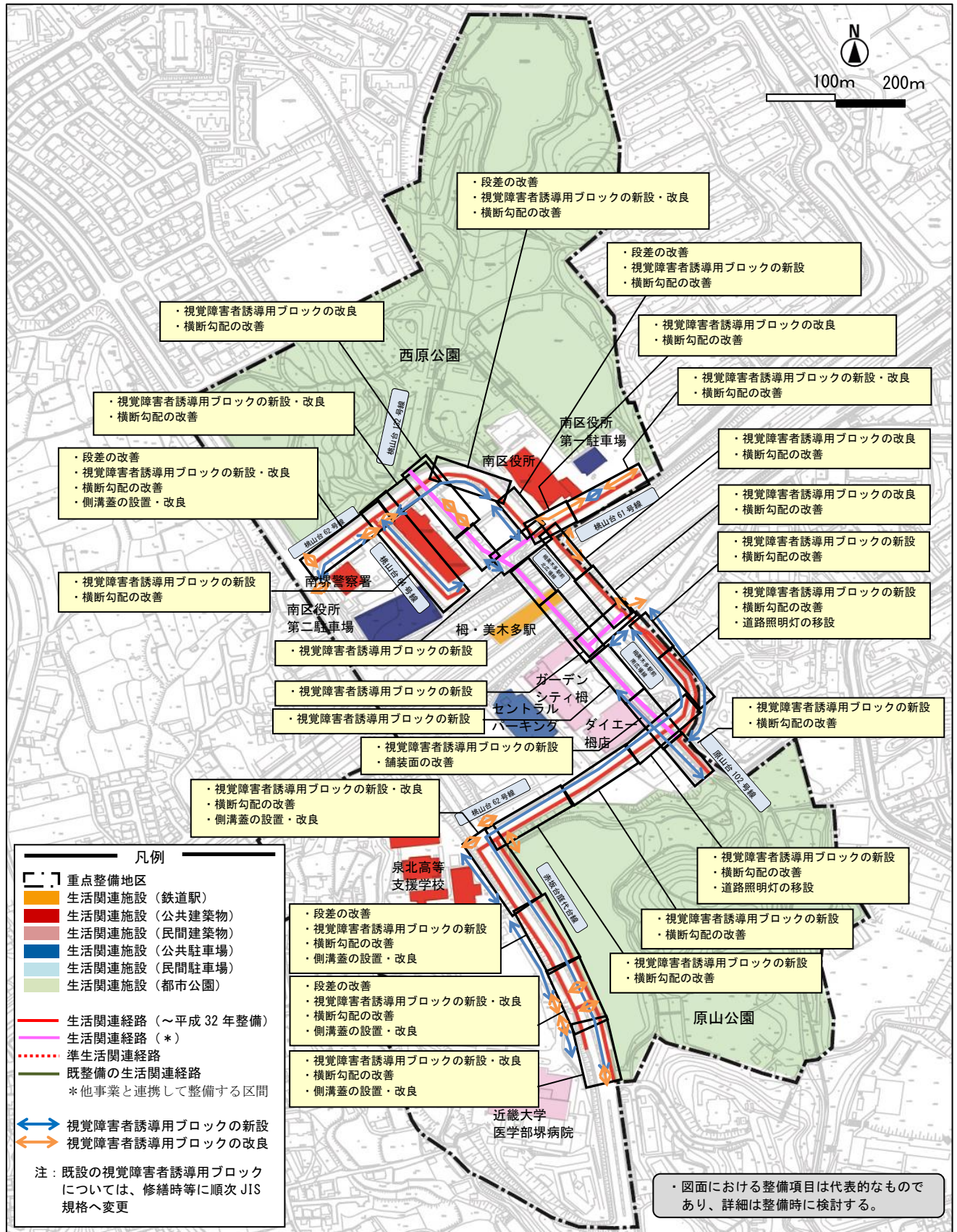
本事業計画では、平成 27 年度に策定された基本構想において選定した「JR 津久野駅周辺地区」及び「泉北高速鉄道樺・美木多駅周辺地区」の 2 地区を計画対象地区とします。

■本年度道路特定事業計画の対象地区

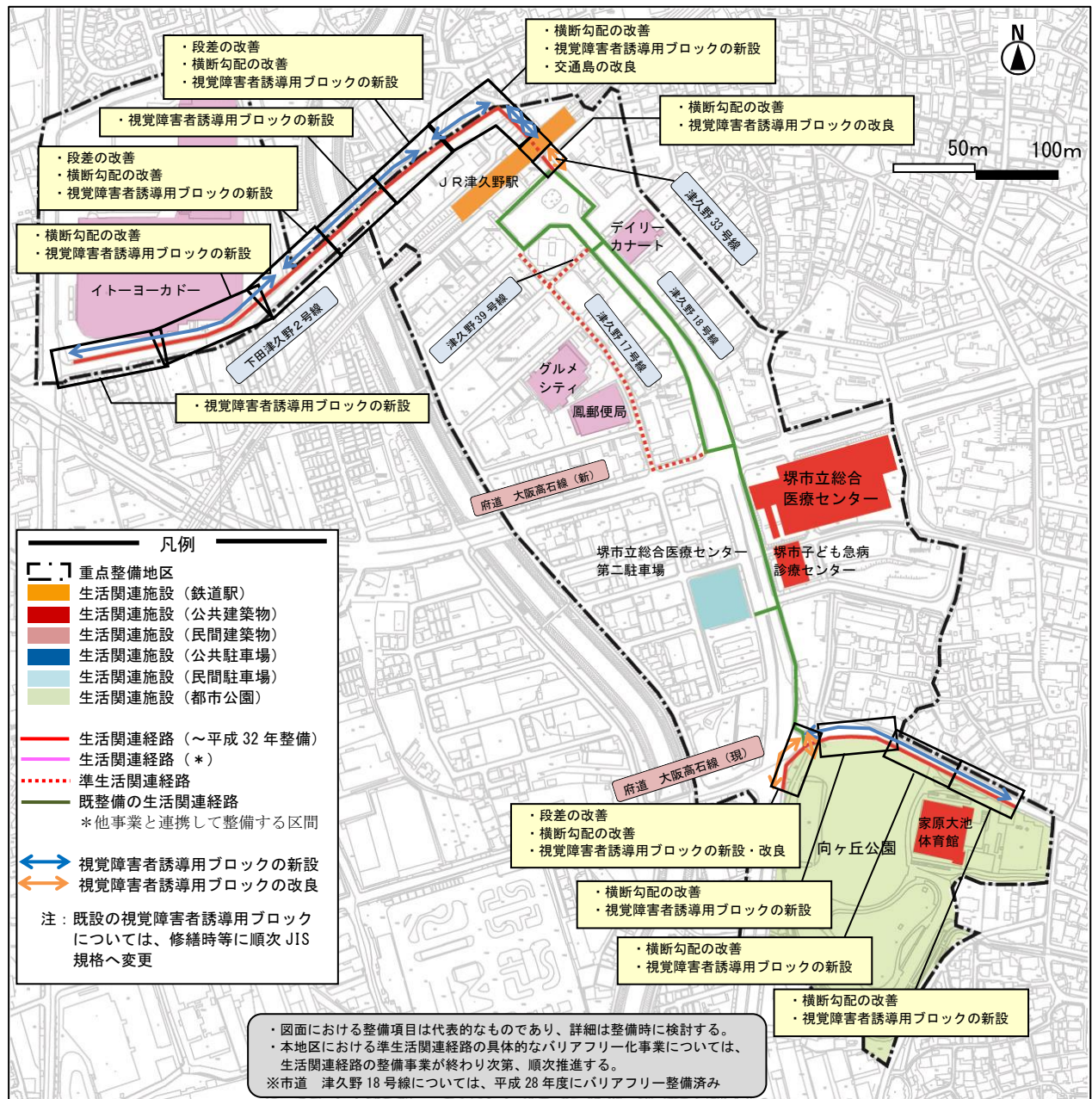
JR 津久野駅周辺地区
面積：29.2ha
泉北高速鉄道樺・美木多駅周辺地区
面積：40.5ha



泉北高速鉄道 梅・美木多駅周辺地区(40.5ha)



JR津久野駅周辺地区(29.2ha)



平成 29 年(2017 年)発行

堺市 建設局 道路部 道路計画課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1

電話:072-228-7423 FAX:072-228-7139

堺市ホームページ <http://www.city.sakai.lg.jp/>

堺市行政資料番号:1-J8-17-0714

